

みらいだより No. 14



●発行 NPO法人 ワークス・コレクティブ みらい ●発行日 2012年3月10日
 ●発行責任 林 正枝 ●〒241-0024 旭区本村町108-10 グレイス二棟11404
 ●電話 045-364-3036 ●FAX 045-364-3096
 ●http://www.k4.dion.ne.jp/~wcomirai/index.html
 ●E-mail: kajikaigo-mirai@k9.dion.ne.jp

夢を叶えるために

理事長 林 正枝

今年の4月に介護保険制度が改正されます。訪問時間の区切り方が変わり、みらいも利用者さん一人ひとりのサービスと時間の見直しを行いました。同じ生活援助(掃除、洗濯、買物、調理等)でも優先順位やかかる時間はみな違います。

週1回のヘルパー訪問を楽しみにされる独居の方には、生活援助とともに少しでも話を聞く時間が大切だと思っています。そこが切り捨てられないようみらいができる範囲で対応していきたいと思っています。

また、昨年は障害者自立支援法の段階的な改正があり、新たに重度の視覚障害者の外出に付き添う「同行援護」というサービスができました。みらいでは、該当する利用者さんや新規の依頼に対応できるように事業所登録を今年1月1日からスタートしました。

公的なサービスを行いながらその必要性和同時に限界も日々感じています。

地域にもっと柔軟なサービスがたくさん出来れば、利用者さんだけでなく私たちも豊かな気持ちで過ごせるのではないのでしょうか。

昨年、大活躍だった「なでしこジャパン」の澤穂希選手の大好きな言葉・・・

「夢は見るものでなく、叶えるもの」

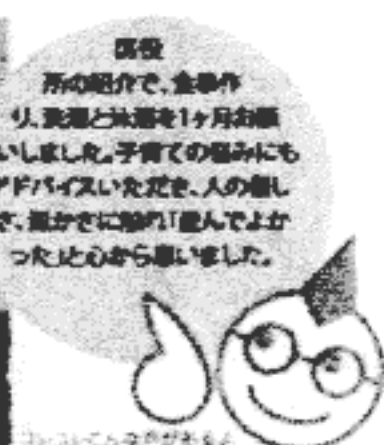
みらいも私も、夢を叶えるため一歩ずつ歩んでいきます。

笑顔で 助け合いの気持ちの、子育て・家事・送迎支援

しなやか
 熱心な
 笑顔

旭区 ■ ■ ■ ワークス・コレクティブ **みらい**

旭区



困ったときにすぐ駆けつけてくれるサービス

■ 手の届かないときの助けに
 産前産後の手伝い、自分が病気になったときなどの家事代行、子どもの病気や、保育園等への送り迎え、日々のちょっとしたお助けが必要なおとき、手の届かない「すき間」を、困ったときに手を差し伸べたいという思いを持つスタッフが支援してくれます。電話(または事務所訪問)相談のあと、スタッフが自宅を訪問して詳しく話し合い、サービス内容を決めて契約をします。

■ 地域密着型の支援
 「地域の中ではお互いさま、困った

ときにはすぐに駆けつけてあげたいという思いから、負担にならない金額と、制度や決まりにとらわれない柔軟な対応を心がけています」と理事長の林さん。例えば産後の家事支援では赤ちゃんのお世話ではなく、赤ちゃんの世話ができるようママのお世話をさせていただけるので、ママは赤ちゃんに集中できます。近所に頼る人のいない家庭にとって、いざというときに、身近に対応してくれる、地元の子育ての先輩がいるということは、安心感にもつながることでしょう。

横浜市から事業を受託した「ひとり親在宅就業支援センター横浜コンソシアム」の卒業生が作成した情報誌に掲載されます。

女性に志す

歳を重ねてほしい

中沢 中野 フチ 87歳

「じつにちはよくです」といって元気で
明い弾んだ、待ちに待った声を聞き
たくて、寝たがり起きたりの身体をベ
ッドからやお立ち上がりさせ、お約
束の時間5分前には歩行器と杖を
使いながら、小さな門を開けに行き
ます。そこにはわたしのじいちゃん
お顔。ホッと致します。

私は3年前に庄迫骨折と腰痛がひ
どく、「腰支援2」の認定を受けま
した。それ以来、週2回Yちゃんに
来て頂いていますが、その内1日は買
物をお願いします。前の日に買物
リストを作っておき、当日はバス代
とそのメモを渡します。一週間分の
たぐわたの買物なのに、短時間で帰
るというわが家の、ひいちゃん「こ
うしてそんなじいちゃん帰るのす
か？」と尋ねるじい、バスの中でリス

トを見て買物の順番を決め無駄な
く回るといふ。また、お店を選ん
で安く良い物を買ってきて下さ
います。どうかしたら、バスに間に
合ひよけに走る事もあるとか。危な
いからそれだけはやめて・・・と止め
ていますが。決められた時間に近く
なるじい「あと5分ありますが、何を
しましょい」と声をかけて下さり、
料理の下処理をするなまじい、きりきり
まで目一杯何かしよいと言いつ温か
い気持ちに涙が出ます。

またみらいちゃんには遠い病院へ
の送迎と付添もお願ひしています。
Kさんの丁寧な運転で安心です、
受診の手続きから会計、お薬受取ま
で車椅子の私に代わってやって下
さいます。どんなに長引いても嫌な
顔ひとつしないぞ。

みらいさんの温かい支えに心え
て明るくハハハに励み、歳を重ね
ていくだろうと思いつきます。心から
感謝しております。じいちゃんもじい
ちゃんも...

「6歳の息子はみらいの

メンバー気取り」

M・O(二〇一一年十月加入)

女性 34才

昨年3月の東日本大震災以降、人
として・・・子を持つ親として・・・
何かしなくては、何が出来るのか、
と考えました。募金、ボランティア
活動・・・幼児を抱えながら出来る事
は限られています。そんな時、たま
たまワーカーズ・コレクティブみら
いのHPを目にしました。みらいは
独自事業(コミュニティ)として、資格
がなくても買物や掃除といった私
にも出来る！と思える事業活動を
していたので、NPO?ワーカー
ズ?とは思いましたが、とにかく行
ってみよう!と思えました。そして
自分が生活しているのが近くで、不
自由な思いを味わっている方がたく
さんいらっしやる事がわかりまし

た。まずは身近なじいちゃんから・・・と
思い活動してきます。

みらいは、自分の親と同世代の先
輩方がパワフルに活動されていま
す。最初は場違いだったか?とも思
いましたが、逆に親と同世代の方々
にしかない安心感があります。子供
の扱いもさすがで、今では6歳の息
子までみらいの「メンバー気取り」です。親
として、子供に口では説明できない
けど伝えたい事・・・がみらいにあ
りました。

「コミュニティ(コミュニティ・オブ・コミュニティ)の
福祉について」

地域の(コミュニティ)最適な(オブ
ティマム)福祉という意味の造語。地域
に住み暮らす人々のたすけあいでつよ
削り出す最適な良質な福祉。

みらいヘルパー 手作りアイデア製品

第2弾!

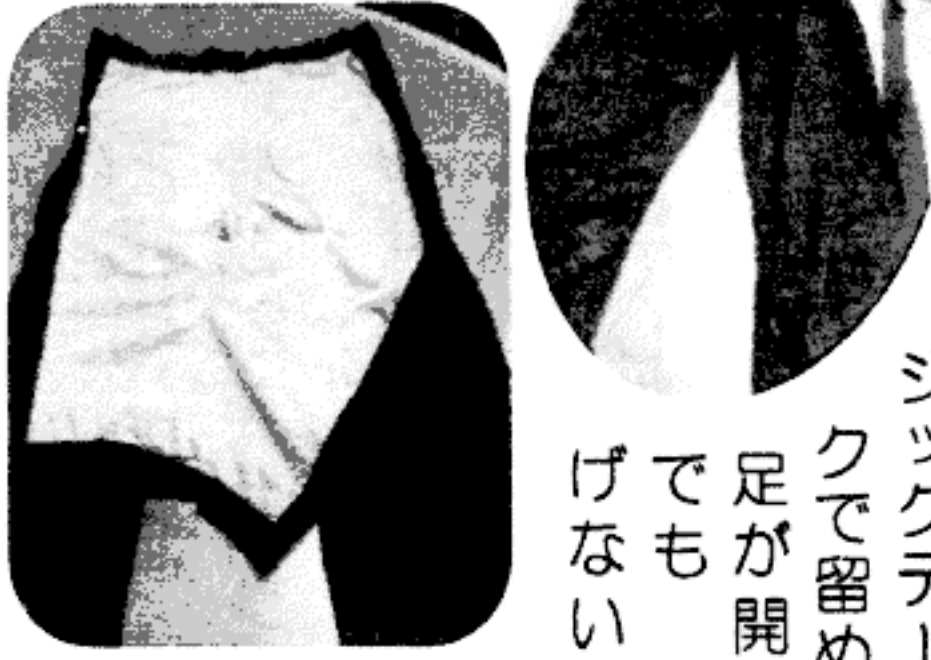
「みらい」のご利用者には、様々な障害をお持ちの方がいらっしやいます。

それぞれの障害に合わせて、甲谷さんは色々な作品を作り、実際に使って頂いています。その中から、重宝されている作品のいくつかを、第2弾としてご紹介します。

①足が拘縮しているK君のための脱ぎ着させやすいスポン

両足が突っ張っていて、おむつ交換や着替えの際、着脱に苦労されています。脚部の両端を切り離し、マジックテープやホックで留めていく。

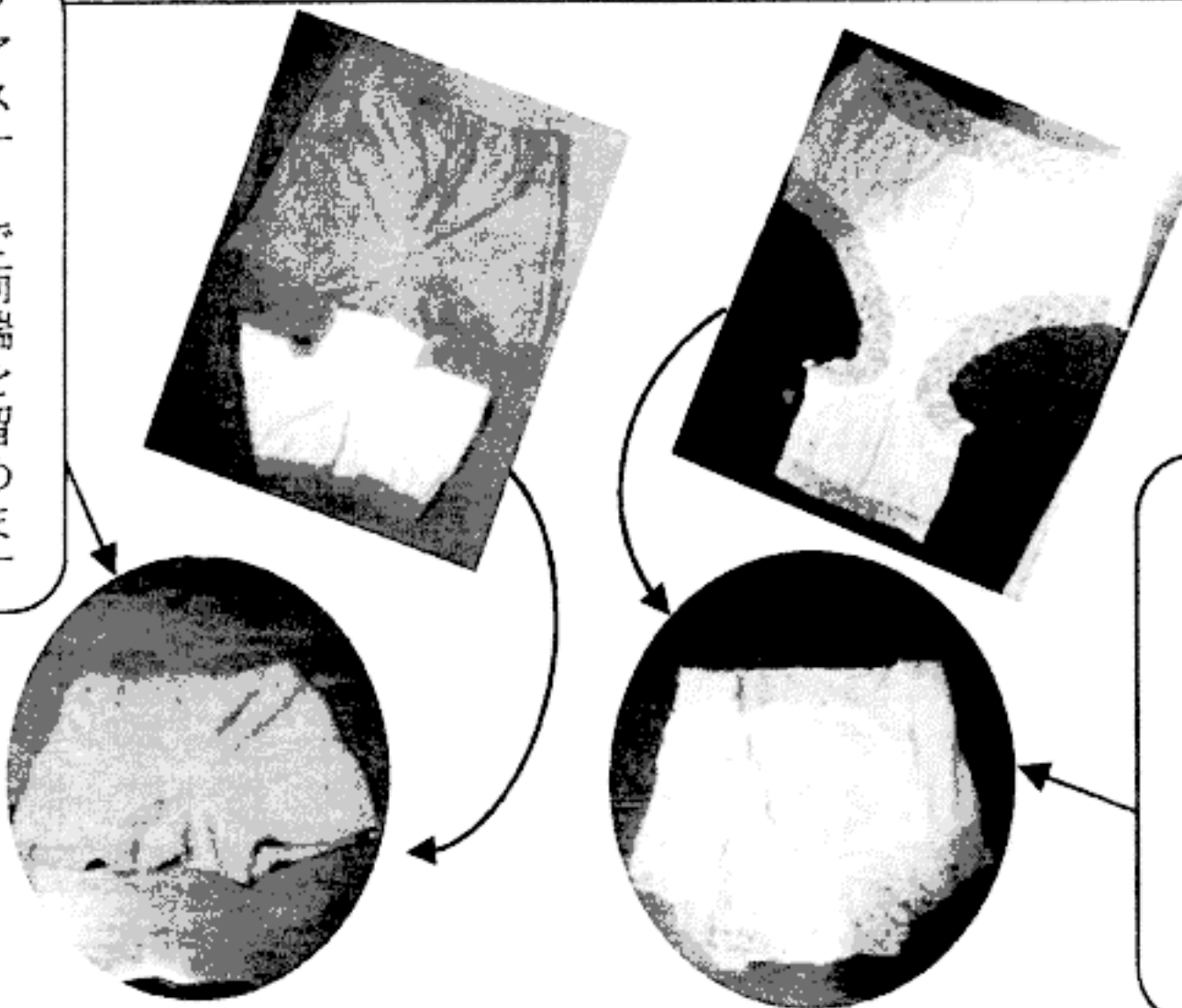
足が開いたままでも無理に曲げないで脱ぎ着出来ます。



②四肢麻痺の方のショーツと水着用パンツ

プールに入るのが何よりの気分転換になる、というYさん。でも立てないため、下着の着脱の時は抱き上げて行ないます。水着に着替えるとき、水着から服に着替えるときこの水着だと平らに開いた上に腰を乗せれば、あっという間に下腹部を隠せて、持ち上げなくても着せられます。両端はマジックテープやフアスナーでとめます。ショーツのフリフリリースがオシャレでしょう。

フアスナーで両端を留めます



両端はマジックテープ

③車椅子用テーブル (安全ベルトの役目も果たします)

中に固い板を入れた袋状の布。手すりの下で留め金でがっちり固定します。手を置くところが楽ですし、移動中の転落防止にもなります。外出先ではテーブルになります。の上でお茶を飲んだり、食べ物置いて食べたり。手や足が不自由になられたSさんやYさんの外出には欠かせません。



④車椅子用袋

外出中の荷物はこの袋にどんどん入れます。



車椅子介助者は大助かり。

⑤車椅子カバー

ベランダの風雨や日差しの当たるところに置いて、これをかけておけば一安心。



こんな品物が欲しい方、「みらい」にご相談ください。

口腔ケア研修報告

菅野 葉子

昨年の11月26日鶴ヶ峰の「ぱれっと旭」を会場に、歯科衛生士川野伸子氏を招いて口腔ケアの研修を行いました。

口腔ケアは利用者さんの生活の向上につながる大切な支援の一つです。

無理にやらない、力を入れない、同じ目線で行うなど相手の気持ちに添ったやり方の大切さを再確認しました。

特に認知症の方は、こちらが実際に歯磨きやうがいをやってみて、それをマネしてもらおう方法が有効との事。歯ブラシができない場合は、うがいをするだけでも食べべかすが取れるということも実践で分かりました。



お花見の会

平成23年4月2日

3月11日の大震災のあと心が痛む毎日でしたが、かねてから計画していた「お花見交流会」を決行しました。普段、ご自宅ではやり過ごしていらっしやる方を、気分転換にお花見に出かけましょう！とお誘いし実現したお花見会。「みらい」にとっては初めての企画です。3月に入っても気温が低く花の便りが遅れていましたが、4月2日幸い好天に恵まれ予定どおり出発。「みらい」利用者様3名とご家族1名、みらいメンバー6名の総勢10名。自家用車2台に分乗してスタートです。

桜の名所は3月の寒さの為に2分咲き。でも最後に着いた広町台公園は、春満開。早咲きの桜やこぶし、紫木蓮、雪柳に枝垂れ梅、ボケと百花繚乱の桃源郷でした。杖をつきながらもHさん思わず紫木蓮に引き寄せられ「まあ、見事に咲いてー!」。みんな、咲いている花の名前を言い合い、好きな花の前で写真を撮りました。



「木下邸」のサンルームはブーゲンビリアが天井まで咲き誇り、温室の花々で初夏の香りに満たされています。温かい陽光の下、お庭のベンチに座って花々を眺めながら、お部屋からお庭を觀賞しながら、サンルームで、と気に

入った場所に陣取り「キッチン村上」の華やかなお花見弁当と木下さんのお手製の沢煮椀を賞味しました。

「戒名は真砂女でよろし紫木蓮」というHさんの俳句の話に花が咲いたり、Sさんのアカペラの歌で盛り上がったたり。もてなして下さる木下さんご夫妻との交流も心地よく、この場所を去りがたくて、のどかで賑やかな時間が過ぎて行きました。

～ ワーカー募集 ～

- 生活支援サービス (コミ・オブ)
 - ・資格の有無は問いません。
 - 介護保険事業・障害者自立支援事業
 - ・2級ヘルパー資格が必要です。
- みらいと一緒に活動して下さる方、
お待ちしております。
身近な地域が暮らしやすくなるように、
あなたの時間を有効に活用してみませんか。

- 分配金 (時給)・・・900円～1250円
交通費全額支給
- 入会金 1,000円
- 長期借入金 (出資金) 19,000円
- 仕事内容
家事全般、介護全般、送迎、食事づくり、掃除、洗濯、買い物、通院や外出介助、産前産後のお手伝い、清拭、足浴、体位交換排泄介助、子育て支援、 など

**みらいにケアを依頼したい方、
一緒に働いてみたい方、
まずはお電話ください。**

～ みらい 案内 ～

